注３ **大学番号：１７７**

届出

［平成２３年度設置］

計画の区分：学部学科設置

注１

大正大学　人間学部　人間環境学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　大正大学

平成２４年５月１日現在

（注）１　「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には認可時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部

（□□学部）

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。

３　大学番号の欄については、平成２４年３月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目　　次

１．　調査対象大学等の概要等　・・・・・・・　１

２．　授業科目の概要　・・・・・・・　５

３．　施設・設備の整備状況，経費　・・・・・・・　１０

４．　既設大学等の状況　・・・・・・・　１１

５．　教員組織の状況　・・・・・・・　１２

６．　留意事項に対する履行状況等　・・・・・・・　１３

７．　その他全般的事項等　・・・・・・・　１４

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学　校　法　人　　大　　正　　大　　学

（２）大　学　名

大　　正　　大　　学

（３）大学の位置

〒１７０－８４７０
東京都豊島区西巣鴨三丁目２０番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	届　　出　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ スギタニ　ギジュン ） 杉　谷　義　純 （平成２１年３月）		
学　　長	（タダ　コウブン） 多　田　孝　文 （平成２２年４月）		
学 部 長	（イトウ　ナオフミ） 伊　藤　直　文 （平成２２年４月）		
学科長等		（オチアイ　タカユキ） 落　合　崇　志 （平成２３年４月）	学部等新設のため(23)

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２１年度に報告済の内容　→（21）
平成２４年度に報告する内容　→（24）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２１年度開設の４年制の学科の場合（平成２４年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
人間学部 人間環境学科 学士（人間環境学）	年 4	人 60	年次 人 －	人 240	

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		平成２６年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
Ａ　入学定員	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 （ ） [ ]	人	人 （ ） [ ]	人	1.13倍	
志願者数	272 （ － ） [1]	（ ） [ ]	178 （ － ） [1]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]		
受験者数	268 （ － ） [1]	（ ） [ ]	174 （ － ） [1]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]		
合格者数	112 （ － ） [0]	（ ） [ ]	153 （ － ） [0]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]		
Ｂ　入学者数	71 （ － ） [0]	（ ） [ ]	64 （ － ） [0]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]	（ ） [ ]		
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.18		1.07							

（注）・　数字は，平成２４年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，((　))書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　[　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	平成２３年度		平成２４年度		平成２５年度		平成２６年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[　－　] 71	[　　]	[　－　] 64	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	
２年次			[　－　] 70	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	
３年次					[　　]	[　　]	[　　]	[　　]	
４年次							[　　]	[　　]	
計	[　　－　　] 71		[　　－　　] 134		[　　]		[　　]		

（注）・　数字は，平成２４年５月１日現在の数字を記入してください。

・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。

・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合(a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成21年度入学者	人	0 人	平成21年度	人	人		%
			平成22年度	人	人		
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成22年度入学者	人	0 人	平成22年度	人	人		%
			平成23年度	人	人		
			平成24年度	人	人		
平成23年度入学者	71 人	1 人	平成23年度	1 人	0 人	・他の教育機関への入学・転学1人	1.4% %
			平成24年度	0 人	0 人		
平成24年度入学者	64 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0% %
合　計	135 人	1 人					0.7% %

（注）・ 数字は，平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜人間学部　人間環境学科＞

（１） 授業科目表

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考
第Ⅰ類科目	大学入門	大学入門１－Ⅰ	1前	1								兼1
		大学入門１－ⅡI	1前		1							兼1
												兼4
		大学入門２	1前	2			1					~~兼2~~
												兼16
		大学入門３	1前	2				1				~~兼7~~
												兼16
		大学入門４	1前	2					~~1~~	~~1~~		~~兼7~~ 担当教員退職のため(23)
									0			
							1		~~1~~	0		兼29
		小計（5科目）	－	7	1	0	~~0~~	1	~~0~~	~~1~~	0	~~兼31~~
	人間探究	人間探究Ａ－Ⅰ	1・2前・後		2							兼2
		人間探究Ａ－ⅡI	1・2前・後		2							兼3
		人間探究Ｂ－Ⅰ	1・2前・後		2		1					兼2
		人間探究Ｂ－ⅡI	1・2前・後		2							兼3
		人間探究Ｃ－Ⅰ	1・2前・後		2							兼1
		人間探究Ｃ－ⅡI	1・2前・後		2							兼1
		人間探究Ｄ－Ⅰ	1・2前・後		2							兼2
												兼3
		人間探究Ｄ－ⅡI	1・2前・後		2							~~兼4~~
		人間探究Ｅ－Ⅰ	1・2前・後		2							兼4
		人間探究Ｅ－ⅡI	1・2前・後		2							兼4
		人間探究Ｆ－Ⅰ	1・2前・後		2							兼1
		人間探究Ｆ－ⅡI	1・2前・後		2							兼2
		人間探究Ｇ－Ⅰ	1・2前・後		2							兼3
		人間探究Ｇ－ⅡI	1・2前・後		2							兼5
												兼3
		人間探究Ｈ－Ⅰ	1・2前・後		2							~~兼4~~
												兼2
		人間探究Ｈ－ⅡI	1・2前・後		2							~~兼4~~
		人間探究Ⅰ	1・2後		2							兼1
												兼33
		小計（17科目）	－	0	34	0	1	0	0	0	0	~~兼34~~
	諸外国語		1・2前									兼10
		英語Ⅰ	~~1・2前・後~~		1							~~兼11~~
			1・2後									兼10
		英語ⅡI	~~1・2前・後~~		1							~~兼11~~
			1・2前									兼11
		英語ⅢI	~~1・2前・後~~		1							~~兼12~~
			1・2後									兼11
		英語Ⅳ	~~1・2前・後~~		1							~~兼12~~
		英語Ⅴ	2・3前		1							兼1
		英語Ⅵ	2・3後		1							兼1
												兼4
		中国語Ⅰ	1・2前・後		1							~~兼6~~
												兼4
		中国語ⅡI	1・2前・後		1							~~兼6~~
			1・2前									兼4
		中国語ⅢI	~~1・2前・後~~		1							~~兼5~~
			1・2後									兼4
		中国語Ⅳ	~~1・2前・後~~		1							~~兼5~~
		中国語Ⅴ	1・2前		1							兼2

第Ⅰ類科目	諸外国語		中国語VI	1・2後		1							兼2	
			ドイツ語I	1・2前・後		1							兼3	
			ドイツ語II	1・2前・後		1							兼3	
			ドイツ語III	1・2前 ~~1・2前・後~~		1							兼2 ~~兼3~~	
			ドイツ語IV	1・2後 ~~1・2前・後~~		1							兼2 ~~兼3~~	
			フランス語I	1・2前・後		1							兼2	
			フランス語II	1・2前・後		1							兼2	
			フランス語III	1・2前 ~~1・2前・後~~		1							兼2	
			フランス語IV	1・2後 ~~1・2前・後~~		1							兼2	
			韓国語I	1・2前		1							兼1	
			韓国語II	1・2後		1							兼1	
			韓国語III	1・2前		1							兼1	
			韓国語IV	1・2後		1							兼1	
			スペイン語I	1・2前		1							兼1	
			スペイン語II	1・2後		1							兼1	
			スペイン語III	1・2前		1							兼1	
			スペイン語IV	1・2後		1							兼1	
			ヒンディ語I	1・2前		1							兼1	
			ヒンディ語II	1・2後		1							兼1	
			ヒンディ語III	1・2前		1							兼1	
			ヒンディ語IV	1・2後		1							兼1	
			小計（32科目）	―	0	32	0	0	0	0	0	0	兼32	
第Ⅱ類科目	基礎部門		基礎ゼミナールⅠ	1前		2		1		1	~~1~~			担当教員退職のため(23)
			基礎ゼミナールⅡ	1後		2		1		1	~~1~~			
			人間環境論	1前	2			5 ~~6~~	1	1	~~1~~			
			現代社会と環境・こども	2前	2			1						
			仏教環境論	2後	2			1						
			こども学基礎論Ⅰ	1後		2				1			~~兼1~~	
			環境福祉論	1後		2		1					兼1	
			小計（7科目）	―	6	8	0	6	1	1 ~~0~~	0 ~~1~~	0	兼1 ~~兼2~~	
	専門部門	A群	こども学基礎論Ⅱ	2前		2		1						
			こども学基礎論Ⅲ	2前		2							兼1	
			現代こども研究Ａ	2後		2							兼1	
			現代こども研究Ｂ	2後		2		1						
			現代こども研究Ｃ	2前		2							兼1	
			現代こども研究Ｄ	2 ~~2前~~		2		~~1~~					兼1	集中
			現代こども研究Ｅ	3前		2							兼1	
			現代こども研究Ｆ	3後 ~~3前~~		2		1						
			現代こども研究Ｇ	3前 ~~3後~~		2							兼1	
			現代こども研究Ｈ	3後		2							兼1	
			小計（10科目）	―	0	20	0	2	0	0	0	0	兼7 ~~兼6~~	
		B群	環境基礎論Ａ	1前		2			1					
			環境基礎論Ｂ	1後		2			1					
			環境基礎論Ｃ	1後		2		1						
			環境基礎論Ｄ	1前		2		1						
			環境研究Ａ	2前		2			1					
			環境研究Ｂ	2後		2		1						
			環境研究Ｃ	2前		2		1						
			環境研究Ｄ	2後		2		1						
			環境応用論Ａ	3前		2							兼1	
			環境応用論Ｂ	3後		2							兼1	
			環境応用論Ｃ	3・4後 ~~3・4前~~		2							兼1	

			環境応用論Ｄ	3・4後		2							兼1	
			環境実践論Ａ	2後		2							兼1	
			環境実践論Ｂ	3前		2							兼1	
			小計（14科目）	―	0	28	0	3	1	0	0	0	兼6 ~~兼4~~	
		C群	人間環境研究A	2後		2							兼1	
			人間環境研究B	2前		2							兼1	
			人間環境研究C	2後		2							兼1	
			人間環境研究D	2前 ~~2前・後~~		2							兼1	
			小計（4科目）	―	0	8	0	0	0	0	0	0	兼4	
	実践部門	A群	ワークショップⅠ（こども）	1前		6		1 ~~3~~		1				
			ワークショップⅡ（こども）	1後		6		2 ~~3~~						
第Ⅱ類科目		A群	ワークショップⅢ（こども）	2前		6		2					兼1	
			ワークショップⅣ（こども）	2後		6		1 ~~2~~		1				
			ワークショップⅤ（こども）	3前		6		3		1			兼2	
			ワークショップⅥ（こども）	3後		6		3		1			兼2	
			ワークショップⅦ（こども）	4前		6		3		1			兼2	
			ワークショップⅧ（こども）	4後		6		3		1			兼2	
			フィールドワークⅠ（こども）	2前		2		3		1				集中
			フィールドワークⅡ（こども）	2後		2		3		1				集中
			小計（10科目）	―	0	52	0	3	0	1 ~~0~~	0	0	兼4	
		B群	ワークショップⅠ（環境）	1前		6		1 ~~3~~	1					
			ワークショップⅡ（環境）	1後		6		1 ~~3~~	1					
			ワークショップⅢ（環境）	2前		6		1 ~~3~~	1					
			ワークショップⅣ（環境）	2後		6		1 ~~3~~	1					
			ワークショップⅤ（環境）	3前		6		1 ~~3~~	1				兼2	
			ワークショップⅥ（環境）	3後		6		1 ~~3~~	1				兼2	
			ワークショップⅦ（環境）	4前		6		3	1					
			ワークショップⅧ（環境）	4後		6		3	1					
			フィールドワークⅠ（環境）	1前		2		2 ~~3~~	1				兼1	集中
			フィールドワークⅡ（環境）	2前		2			~~1~~				兼1	集中
			小計（10科目）	―	0	52	0	2 ~~4~~	1	0	0	0	兼4 ~~兼1~~	
			卒業論文	4		8		4	1					
			卒業研究	4		8		4	1					
			小計（2科目）	―	0	16	0	4	1	0	0	0		
合計（111科目）				―	13	251	0	6	1	1 ~~0~~	0 ~~1~~	0	兼98 ~~兼49~~	

（注）・　届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。

・　届出時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２３年度に届出された大学等は届出時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　「配当年次」について，届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等（平成１９年度届出以前）についても，届出時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。

・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２） 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
13	251	0	264	13	251	0	264	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

（注）・未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［ ］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

（注）・　届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当科目なし					
2						
3						

（注）・　届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	【貸与者】(学)佛教教育学園
	校舎敷地	40,625㎡ ~~40,104㎡~~	0㎡	0㎡	40,625㎡ ~~40,104㎡~~	
	運動場用地	31,429㎡	0㎡	0㎡	31,429㎡	【貸与期間】H5.1.26から20年間
	小計	72,054㎡ ~~71,533㎡~~	0㎡	0㎡	72,054㎡ ~~71,533㎡~~	
	その他	744㎡ ~~712㎡~~	0㎡	0㎡	744㎡ ~~712㎡~~	新教育・研究棟新設（24）
	合計	72,798㎡ ~~72,245㎡~~	0㎡	0㎡	72,798㎡ ~~72,245㎡~~	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	既存校舎解体および新教育・研究棟完成（24）
		51,507㎡ ~~49,221㎡~~ （49,221㎡）	0㎡ （0㎡）	0㎡ （0㎡）	51,507㎡ ~~49,221㎡~~ （49,221㎡）	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	69室 ~~61室~~	13室 ~~30室~~	15室 ~~10室~~	4室 ~~5室~~ （補助職員　2人）	0室 （補助職員　0人）	既存校舎解体および新教育・研究棟完成（24）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	人間学部　人間環境学科	9　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	人間環境学科	31,608〔4,637〕 (29,095〔4,369〕)	40〔3〕 (24〔5〕)	20〔2〕 (20〔2〕)	22,440 (21,556)	0 (　)	0 (　)	電子ジャーナル、視聴覚資料は、大学全体で共用
	計	31,608〔4,637〕 (29,095〔4,637〕)	40〔3〕 (24〔5〕)	20〔2〕 (20〔2〕)	22,440 (21,556)	0 (　)	0 (　)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	4,862㎡	383	502,778	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	1,312㎡	総合グラウンド、野球場、テニスコート	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	94,500千円	94,500千円	94,500千円
	共同研究費等	11,469千円	11,000千円	設備購入費	7,579千円	7,579千円	7,579千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,080千円	900千円	900千円	900千円	千円	千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、寄付金(設立宗派・同窓会・寺院関係者)、手数料(入学検定料等)、資産運用収入　等

（注）・　届出時の計画を，届出書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている
いる場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の
項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２４年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（24）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，黒字で記入してください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

４　既設大学等の状況

大学の名称	大正大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
仏教学部						1.20		東京都豊島区西巣鴨3－20－1	
仏教学科	4	100	25	450	学士（仏教学）	1.20	平成22年度		
人間学部						1.18			
仏教学科	4	—	—	—	学士（仏教学）	1.06	平成5年度		平成22年度より学生募集停止
アーバン福祉学科	4	80	—	320	学士（社会福祉学）	1.13	平成5年度		
ソーシャルワーク専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.15	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
環境コミュニティ専攻	4	—	—	—	学士（社会福祉学）	1.02	平成22年度		平成23年度より学生募集停止
人間環境学科	4	60	—	240	学士（人間環境学）	1.13	平成23年度		
臨床心理学科	4	110	5	450	学士（臨床心理学）	1.21	平成21年度		
人間科学科	4	105	6	432	学士（人間科学）	1.22	平成12年度		平成23年度より学生募集停止
人間科学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.22	平成20年度		平成23年度より学生募集停止
教育人間学専攻	4	—	—	—	学士（人間科学）	1.22	平成20年度		
教育人間学科	4	65	3	266	学士（教育人間学）		平成23年度		
文学部						1.22			
表現文化学科	4	—	—	—	学士（表現文化）	1.26	平成15年度		平成22年度より学生募集停止
人文学科	4	100	3	406	学士（人文学）	1.19	平成22年度		
歴史学科	4	200	3	646	学士（歴史学）	1.22	平成15年度		
表現学部						1.19			
表現文化学科	4	200	3	806	学士（表現文化）	1.19	平成22年度		

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が，設置している全ての大学の学部，学部の学科，短期大学の学科及び高等専門学校の学科（ＡＣ対象学部等を含む）について，大学，短期大学又は高等専門学校ごとに，平成２４年５月１日現在の状況を記入してください。
（専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

・　「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。

・　学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

＜人間学部　人間環境学科＞

（１） 担当教員表

（　省　略　）

（２） 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6 （　）	1 （　）	0 （　）	1 （　）	8 （　）	0 （　）	6 ［　］	1 ［　］	1 ［１］	0 ［△1］	8 ［　］	0 ［　］	

（注）・「届出時の計画」には，届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（　）内に開設時の状況を記入し，
「変更状況」には，平成２４年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［　］内に届出時の
計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（３） 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	助教	足立　にれか	自己都合のため就任辞退(23)
2			
3			

（注）・　専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

1．後任教員を採用するとともに、他の専任教員で当初の担当科目を分担することとしたので、学生の履修等に影響はない(23) 上記のとおり、学生の履修等に影響はないため周知については行っていない。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

６　留意事項に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調　　査　　時 （23年3月）	該当事項なし		
設置計画履行状況 調　　査　　時 （24年3月）	該当事項なし		

（注）・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況については，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

７　その他全般的事項

＜人間学部　人間環境学科＞

（１） 設置計画変更事項等

認　可　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
変更なし	

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・　認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

〇平成５年度から「教育評価部会」を設置

〇平成５年度から「教育評価部会」の下に「授業評価実施小委員会」を設置

〇平成２０年度から「学士課程教育構築に関する部会」を設置

〇平成２２年度から上記３部会を統合し、新たに「教育に関する評価部会」を設置

〇平成２２年度から「コース教務主任会」を設置

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

（平成２１年度）

平成２１年４月～平成２２年３月

〇「教育評価部会」（構成員：各学科・専攻の教員から１名づつ互選。計７名）

６月に１回開催。委員は概ね出席。

〇「授業評価実施小委員会」（構成員：各学科・専攻の教員から１名づつ互選。計７名）

春学期２回、秋学期２回、計４回開催。委員は概ね毎回出席。

〇「学士課程教育構築に関する部会」

（構成員：各コースから１名づつ互選【主として教務主任】と部会長指名者。計２０名）

計７回開催。委員は概ね毎回出席。

（平成２２年度）

平成２２年４月～平成２３年３月

〇「教育に関する評価部会」（構成員：各学科及び大学院から教員を１名ずつ互選。計８名）

春学期３回、秋学期２回、計５回開催。委員は概ね毎回出席。

〇「コース教務主任会」（構成員：各コースの教員から１名ずつ互選。計１８名）

春学期４回、秋学期７回、計１１回開催。委員は概ね毎回出席。

（平成２３年度）

〇「教育に関する評価部会」（構成員：各学科及び大学院から教員を１名ずつ互選。計８名）

春学期２回、秋学期１回、計３回開催。委員は概ね毎回出席。

〇「コース教務主任会」（構成員：各コースの教員から１名ずつ互選。計１８名）

春学期４回、秋学期６回、計１０回開催。委員は概ね毎回出席。

ｃ　委員会の審議事項等

（平成２１年度）
○「教育評価部会」
・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」項目の見直し・活用方法
・外部講師による講演会の実施
○「授業評価実施小委員会」
・学生による「授業評価アンケート」項目の見直し・報告書作成
○「学士課程教育構築に関する部会」
・CP・AP策定
・講義概要やシラバスの検討
・平成２２年度採用予定新任教員対象FD研修会
（平成２２年度）
○「教育に関する評価部会」
・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
・各種教育調査の結果分析
○「コース教務主任会」
・カリキュラムマップ策定
・シラバスの検討
（平成２３年度）
○「教育に関する評価部会」
・学生による「授業評価アンケート」運営、報告書作成、結果分析
・各種教育調査の報告、結果分析
○「コース教務主任会」
・ゼミ制の強化、クラス担任制の導入
・専門教育におけるキャリア形成（キャリア教育）支援方法の検討

② 実施状況
ａ 実施内容
（平成２１年度）
・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
・学生による「授業評価アンケート」
・外部講師による講演会
・CP・AP策定
・講義概要やシラバスの検討
・平成２２年度採用予定新任教員を対象にFD研修会を開催
（平成２２年度）
・学生による「授業評価アンケート」
・カリキュラムマップ策定
・各コースにおける「シラバス検討会」
・平成２３年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催
（平成２３年度）
・学生による「授業評価アンケート」
・各コースにおける「シラバス検討会」
・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会
・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
・平成２４年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

ｂ 実施方法
（平成２１年度）
・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」
春学期及び秋学期の授業終了後に作成し提出。「授業アンケート」結果と照らし合わせ、自己点検を行う。
・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

・外部講師による講演会

２１年度は、他大学から講師を招き、学士教育課程の効果測定、特にラーニング・アウトカムの評価の意義やその手法について講演会を実施。

・CP・AP策定

平成２２年年３月にCP・APを策定。

・講義概要やシラバスの検討

平成２１年より、授業の到達目標に関する項目を追加

（平成２２年度）

・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

・カリキュラムマップ策定

平成２３年１月にカリキュラムマップを策定。

・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、次年度科目のシラバス内容を検討する。

・平成２３年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

（平成２３年度）

・学生による「授業評価アンケート」

春学期及び秋学期の授業期間中に、専任及び非常勤教員担当の全授業科目で実施。

・各コースにおける「シラバス検討会」

コース毎に教員が集まり、DP達成のためのCPとの整合性を取りながら、次年度科目のシラバス内容を検討する。

・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会

コース毎に教員が集まり、学生と教員のコミュニケーション強化、学生の個別学修状況把握などから最終的に就職につなげるためのゼミ強化、および１年次からのクラス担任制導入にあたっての問題点や実行策などを検討する。

・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」

年度末に学生の「授業評価アンケート」結果を踏まえた上で、教員自身の授業自己点検およびフィードバックを行ない報告する。

・平成２４年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」

次年度新任教員がワークショップ形式で行う。

ｃ　開催状況（教員の参加状況含む）

（平成２１年度）

・教員による授業自己点検報告書「授業経過報告書」

春学期：７月　秋学期：２月

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：６月～７月　秋学期：１２月～１月

・外部講師による講演会

平成２１年６月２４日（水）に初年次教育学会学会長・同志社大学社会学部教授山田礼子氏を講師として招聘し、「学士課程教育の効果をどう測るか」について講演会を開催。

（平成２２年度）

・学生による「授業評価アンケート」

春学期：７月　　秋学期：１２月～１月

・各コースにおける「シラバス検討会」

実施：１月～２月　　報告書提出：３月

・平成２３年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催

実施：３月

（平成２３年度）

・学生による「授業評価アンケート」
春学期：７月　　秋学期：１２月～１月
・各コースにおける「シラバス検討会」
実施：１月～２月　　報告書提出：３月
・各コースにおけるゼミ強化・クラス担任制導入にあたってのFD会
実施：９月より月１回　　報告書提出：３月
・教員による「授業自己点検報告書」「授業アンケートフィードバック」
実施：年度末　　報告書提出：４月
・平成２４年度採用新任教員を対象とした「FD研修会」開催
実施：２月

ｄ　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成２１年度のFD活動の実施結果を踏まえて、平成２２年度以降も取組みを継続的に実施する。

具体的には、

・学生による「授業評価アンケート」

「授業の到達目標」に対する回答項目を検討

・外部講師による講演会を予定

学生による「授業評価アンケート」集計結果等から検討課題を見出し、次年度のカリキュラムやシラバスに反映する。
平成２２年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成２３年度以降も継続的に実施する。
平成２３年度FD活動の実施結果を踏まえ、平成２４年度以降も継続的に実施する。
具体的には、
・Ⅰ類科目（教養科目・初年次教育科目）・キャリア教育科目とⅡ類科目（専門教育科目）の全体的な再構築（融合）に向けて、諸問題の検討
・上記を踏まえた各コースDPの再確認および見直し
・そのDPを実現するためのCPの作成、授業方法やシラバスの記載方法などの検討
を行なう。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙のとおり）

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期　　平成２４年１２月中旬

本学では、学則において教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行うことを定めている。
また、本学では2008年度にTSR(大正大学の社会的責任)の方針を定め、これに基づき昨年度より自ら目標を立て、計画・実行し改善を継続していく、社会的責任を全うするための「内部質保証」システムを構築した。

組織的には理事長を長とする「TSR推進委員会」をおき、そのもとに学長を長とする「TSR推進運営委員会」、そのもとに「教育に関する評価部会」、「研究に関する評価部会」、「社会活動に関する評価部会」、「管理運営に関する評価部会」、「大学院に関する評価部会」の５つの「個別評価部会」をおいている。
「TSR推進委員会」は、全学的観点から総合かつ体系的な自己点検・自己評価を行い、総括評価報告書を作成するとともに、ＰＤＣＡサイクルが循環し質向上に向けた努力が継続的になるよう管理運営している。

ｂ　公表方法

自己点検・評価の取組みが本学の教育研究活動の総括と方針決定に結びつく重要な業務であることを認識し、報告書にまとめることに留まらず、改善すべき内容については緊急度の高いものから随時具体化をはかる。自己点検・評価の結果については『自己点検・評価報告書』を刊行すると同時に本学のホームページにも掲出している。
また、授業評価アンケートについては、年２回『学生による授業評価報告書』として刊行すると同時に本学のホームページに公開している。

③　認証評価を受ける計画

これまでには、平成６年に「大学基準協会」維持会員への申請を行い、平成７年度より維持会員となり、平成１３年度に大学基準協会の相互評価を受けてきた。そして平成１８年度には「自己点検・評価実施委員会」が作成した自己点検・評価報告書をもとにして、文部科学省の認証を受けた評価機関内の「大学基準協会」を利用して第三者評価を行い、「大学基準に適合する」旨の結果を得た。平成２５年度には「大学基準協会」による第三者評価を受ける予定である。

（注）・　届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については，当該項目を記載する必要はありません。

（４） 情報提供に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　２４年　６月　１日　）

ｃ　文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
（　承 諾 す る　・　承諾しない　）

ｄ　上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
（ http://www.tais.ac.jp/guide/edu_vision/report/ ）

（注）・「ｃ」において「承諾する」場合，文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので，大学等のトップページではなく直接リンクする先を「ｄ」に記入してください。
なお，「ｄ」のリンク先のアドレスが未定の場合は，決まり次第，文部科学省高等教育局大学設置室あてに，メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス　：　d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先（〇〇大学）」としてください。